



(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

## シンガポール共和国 ガーデン・シティー政策

### 第2回 50年のたゆまぬ努力と緑育成維持管理

(株)ウイン代表取締役 ランドスケープ・アーキテクト 稲田 純一  
(元シンガポール政府公園庁計画開発部長)

約50年前、独立当時のシンガポールは資源もなく、資本も少なく、今とは比較にならない状態でした。このような社会状況の中、ガーデン・シティーを国づくりの目標に掲げ、そのために出来ることがあれば即実行したそうです。例えば、道路に植物を植えつけられる場所があれば、どんなに小さな場所でも舗装をはがして植物を植えていました。初歩的な植栽工事から始まり、その後50年間にわたり公園や緑地を文字通り粉骨砕身して計画的に継続整備してきました。その間、日本からも多くの専門家が招聘(しょうへい)され、日本の高いレベルの造園技術がシンガポールのガーデン・シティー建設に随分と活かされています。あまり知られていませんが、このような日本の貢献については、シンガポールでは知る人ぞ知るところです。



緑に包まれた市街地(1990年代)

この50年間での成果は、簡単に成し得たものではありません。シンガポール政府内部で関わってきた私の経験から判断して、次のことが大きくシンガポールのガーデン・シティー政策を成功に導いたと考えます。

- 1) リー元首相のガーデン・シティー推進への強いリーダーシップ
- 2) ガーデン・シティー建設の具体的目標と必ず実現させる実行力
- 3) その実現に向けての行政組織の連携、継続した取り組み 行政の枠組みを超えるガーデン・シティー関係実行組織
- 4) ヘッドハンティングによる国際的専門家の起用

- 5) 国民へのガーデン・シティー理解のためのキャンペーン
- 6) 建設のみならず維持管理予算の確保と実行(全公園予算の60%)



豊かな緑と共存する市内中心部の高速道路(1990年代)

例えば維持管理において、その予算配分、日々の徹底した作業、管理状態のチェック等は、恐らく世界でトップと思われます。厳しい予算の中で造り上げた公園や緑地は、その公共財産価値を下げてはならないと認識されています。実際には維持管理をすることで逆に価値を上げています。

シンガポールのガーデン・シティーは、この舞台裏の維持管理により世界レベルの質を保持しています。皆さんがシンガポールに行かれましたら、朝早くから緑の管理作業が行われている光景に出会うかもしれません。



道路沿いは芝生化され、維持管理が行われている(1990年代)

次回は、国立シンガポール植物園について、紹介します。

# H25年度 「花緑いっぱい運動推進員」研修会報告

花緑いっぱい運動推進員研修会を各県民局毎に開催しましたので、その概要を報告します。研修会は、推進員だけでなく、地域の花緑団体や市町の緑化協会・担当者にもよびかけて開催しました。

この研修会は、昨年までワークショップと同時開催していました。本年は、推進員の皆さんに、兵庫県の花緑への取り組みや花緑団体への支援事業について理解し支援事業の活用を図っていただくために、研修会を単独で開催しました。また、同時に推進員に必要な緑化技術、知識の向上に役立つよう花と緑の専門家による講習会も開催しました。

参加者からは、支援事業の取り組み方などについて熱心に質疑が行われ、「推進員間の交流と情報交換の場として、今後も開催して欲しい」、「花緑団体への支援事業の内容がよく理解できた」などの意見がありました。

## 兵庫県の緑化政策について（下記の項目についての説明が行われました）

◆ひょうご花緑創造プラン

◆花緑支援事業(県民まちなみ緑化事業ほか)

県民局	月日	場 所	講習会テーマ	講師(敬称略)	参加人数 (人)
東播磨	5/23	加古川総合庁舎	初夏の花壇づくり	ガーデンマイスター 安尾 昌子	31
阪神南	5/31	西宮庁舎	花壇デザイン (色彩を生かしたガーデン作り)	ガーデンデザイン研究家 中山 正範	25
西播磨	7/3	西播磨総合庁舎	園芸療法 (花と緑で人を癒す)	兵庫県認定園芸療法士 松本 むつみ	26
神 戸	7/22	西神戸庁舎	花壇づくり (夏からの庭づくり)	花と緑のまちづくり センター 緑の相談所長 若松 康史	25
淡 路	8/8	洲本総合庁舎 消費生活センター	秋の花壇づくり	花と緑のまちづくり センター 緑の相談所長 若松 康史	33
中播磨	8/9	姫路総合庁舎	園芸療法 (花と緑で人を癒す)	兵庫県認定園芸療法士 松本 むつみ	17
北播磨	8/23	社総合庁舎	秋の花壇づくり	(株)エクステリア風雅舎 代表取締役 加地 一雄	21
丹 波	9/5	丹波並木道中央公園	花壇の土づくり (花木の土づくりについて)	全農兵庫県本部営農振興部 営農振興課技術顧問 吉倉 惇一郎	17

# 研修会の様子

## 東播磨県民局

・初夏の花壇づくりの全般にわたって丁寧に説明していただきました。



## 西播磨県民局

・園芸療法で、足浴、手浴を実演していただきました。



## 淡路県民局

・低木を補助対象にしてほしい。→補助対象とします。

## 丹波県民局

・緑化資材の要件について  
・作物の障害の原因が、要素欠乏とわかった。

## 中播磨県民局

・園芸は人の心を癒してくれるものと改めて考えさせられました。

## 北播磨県民局

・活動する仲間が減少してくるので、どうしたら増やせるか？  
→花の世話だけでなく、他の楽しみ(慰労会、茶会など)を加えてみたらどうか。

## 神戸県民局

・琉球アサガオの花が咲かない。  
→水銀灯の影響かもしれない。



・推進員同士のつながりができないだろうか。  
・すみれ台中央公園花壇のリニューアルをしました。

## 阪神南県民局



# 「花緑いっぱい運動推進員」の募集!

花と緑のまちづくりに一定の技術や知識をお持ちの方で、地域における花緑活動の**ボランティアリーダー**として実践活動や人材育成に取り組む「花緑いっぱい運動推進員」を募集しています。

## 対象者

- \* 兵庫県立淡路景観園芸学校におけるまちづくりガーデナー本科コース修了者
- \* 次のような資格をお持ちの方
  - ・グリーンアドバイザー
  - ・園芸装飾技能士
  - ・造園技能士
- \* 市町等が行っている花と緑を活用したまちづくり活動等の講座を概ね50時間以上受講し認定を受けた方などで、地域において指導する意欲があり、指導活動のできる方
- \* 花と緑に関して地域で2~3年以上にわたって顕著な活動を行っており、上記の方と同等以上であると花と緑のまちづくりセンターが認めた方

## 活動内容

- \* 緑化活動に取り組もうとするグループの育成
- \* 緑化活動への技術的なアドバイス(設計、整備、維持管理等)
- \* 緑化活動グループの交流促進 など

なお、推進員には、花と緑のまちづくりセンターがボランティア保険に加入し、月1,000円の活動費を助成します。

**お申し込み、お問い合わせ等詳しくは、お住まいの県民局(本誌5ページ参照)まで**

## ご存知ですか？

# 「花と緑の専門家バンク」の活用法！

花と緑のまちづくりセンターでは、都市緑化の専門家や学識経験者等による花と緑の専門家バンクを設置しています。

グループ、団体等で管理している花壇や芝生を美しく維持するために、**専門家の意見やアドバイス**を受けたいと思ったことはありませんか？

そんな方々の要望を積極的に支援し、花緑団体の活動をより効果的にするためにご利用いただけるのが、この専門家バンクです。

こんな時に  
ご利用を！



== 活用例として次のようなものがあります ==

- ・ 県民まちなみ緑化事業への取り組みに際しての技術指導
- ・ 花緑団体の管理する花壇や緑地帯の維持管理
- ・ 花壇のデザインや花木の選び方、植え替え等の技術指導
- ・ 花と緑に関する研修会等

## 活用例と利用者の声

### 校庭庭緑化



芝が枯れてがっかりしましたが、専門家バンクの先生から枯れた原因や、手入れの仕方、補修方法などを教えていただきました。

その結果、茶色だった芝生がグリーンに見事復活しました。

幼稚園(加古川市)

専門家による実施指導では植栽場所の条件に合うように、目的や効果を考えてから植栽することの大切さを学びました。

その学びの成果が、素敵なオープンガーデンとなりました。

今後も専門家バンクを機会あるごとにうまく活用していきたいと思えます。

緑化ボランティア(芦屋市)

### 花壇のデザイン



# 利用方法

**対象団体** 地域で活動している花緑団体  
(10人程度)

## お申込 方法

実施希望時期の約1ヶ月前までに、お住まいの地域の**各県民局土木事務所**に駐在する**緑のパトロール隊員**にお申し込みください。

## 講師の 紹介

花と緑のまちづくりセンターHP内の

花と緑の専門家バンク

講師一覧PDFファイル

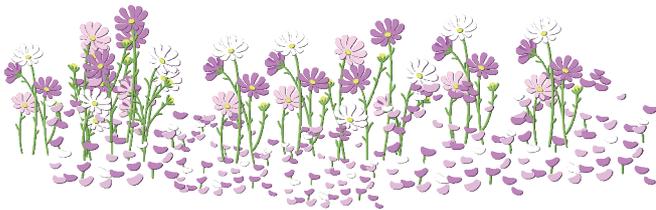
を順番にクリックしますと、講師一覧表があります。講師ごとに、得意とする分野や、活動可能地域が記載されています。

ただし、依頼内容にふさわしい講師の選定・紹介は、事務局で行います。

## 費用

講師の謝礼及び交通費については、「花と緑の専門家バンク」が負担します。

**\*会場準備および参加者の募集は、主催団体で行ってください。**



## ○お申し込み先

県民局	担当課	TEL番号	県民局	担当課	TEL番号
神戸	神戸土木事務所 まちづくり課	078-737-2192	中播磨	姫路土木事務所 まちづくり建築課	079-281-9313
阪神南	西宮土木事務所 まちづくり建築課	0798-39-1546	西播磨	光都土木事務所 まちづくり建築課	0791-58-2259
阪神北	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	0797-83-3191	但馬	豊岡土木事務所 まちづくり建築第1課	0796-26-3756
東播磨	加古川土木事務所 まちづくり建築課	079-421-9402	丹波	丹波土木事務所 まちづくり建築課	0795-73-3863
北播磨	加東土木事務所 まちづくり建築課	0795-42-6176	淡路	洲本土木事務所 まちづくり建築課	0799-26-3213

「花と緑の専門家バンク」事務局

公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会  
花と緑のまちづくりセンター TEL 078-918-2405

詳しくは →

花と緑のまちづくりセンター

検索

<https://www.hyogohanamachi.jp/>

## グリーンメッセージ

# 淡路島で「淡路花博2015花みどりフェア」開催へ

花と緑のまちづくりセンター長

石原 憲一郎

(兵庫県参与・淡路花博2015花みどりフェア  
企画委員会委員兼花緑部会チーフアドバイザー)

淡路花博が2000年に淡路島で開催されて13年が経過しました。

淡路花博は、「人と自然のコミュニケーション」を基本理念として、世界に開かれた公園島を目指す淡路島で開催されました。その理念を継承・発展させるため、2010年に「淡路花博2010花みどりフェア」を開催したのに引き続き、2015年に再びフェアを開催することとし、8月27日の実行委員会で基本計画が策定されました。折しも、淡路島では、「あわじ環境未来島構想」を掲げて、国から地域活性化総合特区の指定を受け、新たな地域経済・生活のモデルを提案し、生命つながる「持続する環境の島」として胎動が始まっています。



2012年フェンロー国際園芸博覧会(オランダ)会場の様子

「淡路花博2015花みどりフェア」は、**平成27年3月21日(土)から5月31日(日)**までの72日間を会期として、淡路夢舞台、国営明石海峡公園をメイン会場とし、洲本市、南あわじ市でのサブメイン会場、淡路島全島をサテライト会場として開催されます。

今後、具体的な実施計画が検討されますが、今回のフェアの特徴として、

- ①淡路島でのローカルエネルギーの整備や淡路島の豊かな暮らしを通してこれからのライフスタイルを提案する
- ②淡路花博の時、制定した淡路公園島憲章を再認識し、会場のみならず淡路島全島を、島民参加の下、花と緑あふれる景観づくりを行う
- ③農業立島淡路島にふさわしく、これからの農や農を支える食の在り方を考え、食のブランド化など新しい提案を行うこと

などが考えられています。

しかし、なにより今回のフェアを起爆剤として、淡路島全島を「観光と交流の舞台」にするため、全島民がキャスト(島外からの参加者をお迎えする側)とゲスト(参加者自身)として活動して頂くための仕組みづくりとその実現が最大の目標であると考えています。

あと1年半の間、より多くの県民がフェアの計画づくりにも参画し、未来につながる新しいフェアが実現し、淡路島に様々な創造が生まれ、壮大な交流の場となることを期待しています。



メイン会場・国営明石海峡公園 春のカーニバル(上・下とも)

ほっと

## ●●● 相談員ニュース ●●●

緑の相談所長 若松 康史

## クリスマスローズの植え替え、株分け

夏越ししたクリスマスローズは暑さが和らぐ9月になると、株元から芽が出はじめ、新たな生長期を迎えます。何年も放っておくと芽数は多くなりますが、それぞれが貧弱になって花も少なくなります。このような株は、植え替えや株分けを行うことで株をリフレッシュさせ、再び元気に花を咲かせることができます。

## 時期

最近が残暑も厳しく、秋の訪れが遅くなる傾向にあります。寒さが急に訪れる場合もあります。植え替えは11月までに、株分けのように根にダメージを与える作業は9月終わりから10月中に済ませるようにします。鉢植えでは根の張るスペースも限られてくるので、2年に1回は植え替えた方が良いでしょう。庭植えの場合はそれほど頻繁に行う必要はなく、4、5年に1回程度となりますが、植え替えと同時に株分けを行う作業となります。

## 方法

## 1 株分け

株元の根茎が多く露出し、中心部から離れて芽が多く立っている株で行います(写真1)。もとの塊を2~4つに分けるような感じで、2、3芽以上付けて分けます(写真2)。細かく分けると株が弱り、翌年に花が咲かない場合があるのでご注意ください!



写真1



写真2

## 2 植え替え(鉢植え)

根鉢の表面を少し崩す程度にして一回り大きな鉢に植え替えますが、同じ大きさの鉢に植える場合は元の根鉢より一回り小さくして植え付けます。根が深く伸びるので腰高鉢を用いると良いでしょう(写真3)。用土は水はけの良いものを選びます。例えば、赤玉中粒:腐葉土:軽石=6:3:1で混合するか、市販の培養土に3割程度軽石を混入します。

深さは新芽が少し隠れる程度とします(写真4)。肥料は作業後1か月経過してから施します。



写真3



写真4

## \*\*園芸相談コーナー\*\*

10:00~12:00

13:00~16:00

火曜日を除く毎日

Tel 078(918)2405

Fax 078(919)5186

写真や実物をご持参いただきますと、  
お話ししやすくなります。

# ひょうごローズクラブ総会・記念講演会報告

6月15日(土)、兵庫県民会館に196名のバラ愛好家が集まり、開催されました。



↑ 西洋料理のシェフ 谷崎政巳さん。料理とバラにまつわるお話。



↑ 兵庫県産バラを觀賞する参加者。



↑ 熱心な参加者で埋め尽くされた会場。

## これからのイベント情報

- 各種講習会 11月11日(月) 「バラと塩で作るガラス飾り」  
 11月29日(金) 「クリスマスを彩る プリザーブドフラワーアレンジメント」  
 2月中旬 「バラのアロマでリフレッシュ！ローズオイルによるアロマ体験」  
 3月中旬 「バラにまつわるお話&ぜいたくランチ」  
 他にも各種剪定講習会等を開催いたします。詳細は、花と緑のまちづくりセンター内  
 ひょうごローズクラブ事務局まで ( TEL 078-918-2405 )

## 県下の相談所紹介

第10回(最終回)

花と緑のまちづくりセンター  
緑の相談所

明石公園の緑の相談所は、県民の花と緑への関心をより高めてもらうよう、園芸知識・技術の普及を目的として、昭和55年4月に開設されました。平成19年に、県下の花緑団体の活動を支援する花と緑のまちづくりセンターが開設されてからは、園芸相談や年間約50回の園芸教室などを実施しています。

建物には屋上庭園があり、プンゲンストウヒなどのコニファー類や四季折々に咲く草花を楽しんでいただけます。また、桜の季節には剛の池を囲む「さくら名所100選」のソメイヨシノを眼下に見下ろすことができます。

また、新しい草花品種など、園芸愛好者のニーズに合った展示も随時行っておりますので、明石公園を散策しながらお気軽に立ち寄りください。



問い合わせ 花と緑のまちづくりセンター 緑の相談所  
 せ先 〒673-0847 明石市明石公園1-27  
 TEL 078-918-2405 FAX 078-919-5186  
 Eメール info\_midori@hyogopark.com  
 相談時間 10時~12時、13時~16時  
 休日 毎週火曜日 12月29日~1月3日

## 花と緑のまちづくりセンターだより 26号

- 平成25年10月1日発行(年4回発行)
- 編集発行 公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎  
 〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター  
 TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール:info\_midori@hyogopark.com